知多半島サイクリングロード

一般県道　武豊大府自転車道線

愛知県のサイクリングロード

急速な社会変化の中で、余暇の増大による野外でのスポーツ・レクリエーション活動、高齢化社会における健康づくりへの関心の高まり等が見られます。このような社会情勢に応じて、愛知県ではスポーツ・レクリエーションとしてのサイクリングが安全にしかも快適に楽しめる自転車道の整備を進めています。

田原豊橋自転車道（渥美サイクリングロード）

渥美サイクリングロードは、太平洋岸自転車道（千葉県銚子市から和歌山県和歌山市までの約1,200km）のうちの、愛知県内ルートとして計画が進められている54.8kmの自転車道で、太平洋の雄大な風景が魅力です。（整備中）

日出の石門付近

豊田安城自転車道

豊田安城自転車道は、豊田市、安城市街地を南北に縦貫する枝下・明治用水路の管路化に伴い、その上部を有効利用して整備された36.3kmの自転車道です。明治用水にまつわる名所や文化施設を結び、豊かな緑と水のせせらぎが心地よい自転車道です。（整備中）

安城公園付近

知多半島サイクリングロードの概要

自然と歴史・文化のサイクルネットワーク

知多半島サイクリングロードは、武豊町と大府市を結ぶ延長31.1kmの半島縦断自転車道で、愛知用水や河川、自動車専用道路沿いを利用し、自転車歩行者専用道路として整備しています。

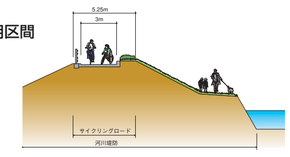
知多半島の豊かな自然、歴史、文化をつなぐ、人間交流の道として、「健康と長寿」の国際的拠点となるあいち健康の森をはじめ、地域に点在する名所旧跡や文化施設、公園、野外レクリエーション施設などのネットワークを考えてルートを選定しています。

ぜひサイクリングロードを利用して知多半島の魅力を再確認してください。

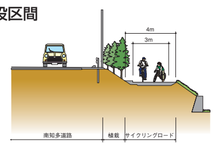
路線名	一般県道　武豊大府自転車道線
事業区間	武豊町字嶋田（一般県道大谷冨貴線） ～大府市吉田町（一般国道155号）
区間延長	31.1km
幅員	有効幅員3.0m

知多半島サイクリングロード　標準横断図

●河川堤防利用区間



●南知多道路併設区間



楽しいサイクリングのために

出かける前には？

- まずは自転車のチェック。ブレーキの効き具合、ハンドルのぐらつき、タイヤのすり減りと空気、点灯、チェーンのゆるみを点検しましょう。
- 服装は自由ですが、動きやすく、チェーンや車輪に巻き込まれないものが良いでしょう。

持ち物は？

- 水筒と地図は必需品です。
- 半日から１日の走行なら、絆創膏などの応急薬品、工具セット、軽食があると便利でしょう。
- 荷物はザック等を背負うより、フロントバックをつける方が安全です。

サイクリングのコツ

- 楽しいサイクリングのために、決して無理をしないことが大切です。30分に５分程度は休憩し、軽く体操をするなど、疲れを取りながら走りましょう。
- 自転車は、体や使用目的に合ったものを選ぶことが大切です。

サイクリングのマナー

- スピードはひかえめに！専用道路だからと油断せず左側通行を守り、歩行者に注意して安全運転を心掛けましょう。また、車が通る横断道路もあるので気をつけましょう。
- サイクリングロードはみんなの道です。気持ちよく利用できるようゴミやタバコのポイ捨ては止め、草木等を大切にしましょう。

知多半島サイクリングロードの利用について

- レンタサイクルはありませんので、各自自転車をご用意ください。
- 自動車でお越しの際は、半田運動公園あいち健康の森公園の駐車場か、沿道の休憩所に設置されている駐車スペースをご利用ください。
- このマップでは知多半島サイクリングロード（一般県道武豊大府自転車道線）を走ることを前提に考えておりますが、一部整備中又は未整備のため現況の道路を通行することもございます。自転車は道路交通法上「軽車両」に分類されますので、標識等で許可された歩道以外は車道の左端を通行して下さい。

日帰りサイクリングをしよう

初心者でも余裕をもって走れる40～50km程度が最適プラン

知多半島サイクリングロード周辺には公園、史跡、博物館など見どころが多くあります。

全行程を短めに設定し、コース途中の景勝地などでゆとりをもって行動できるようにすれば、サイクリングの楽しさが実感できます。

日帰りサイクリングに必要な装備

- 着替え（下着、靴下）
- タオル
- ウインドブレーカー（防寒用）
- 雨具
- 地図
- 携帯工具
- パンク修理セット
- カメラ
- ファーストエイドキット
- 飲み物、簡易食料（糖分の補給）
- バック（着替えや地図、食料など入れる）

日帰りサイクリングの注意点

水分の補給

失った汗と同量の水をまめに飲むことによって疲れを減少させることができます。特にミネラル類を多く含むスポーツドリンクを飲めば疲労防止にもなります。

注意力の低下

疲労がたまると注意力や集中力が大きく低下して、転倒、接触などの事故を起こしやすくなります。

ペース

8～10kmを1時間で走るペースを基本にすると、疲れの少ないサイクリングができます。

知多半島サイクリングロード

一般県道　武豊大府自転車道線

●お問い合わせ先
愛知県知多建設事務所　TEL：0569-21-3231
http://www.pref.aichi.jp/kensetsu-somu/chita-kensetsu/

おすすめルート紹介

オススメルート1

自然を楽しむのにぴったり

水と緑の愛知用水コース

約2km　所要時間：片道約10分※

愛知用水沿いのルートを通って大堀緑道まで走行するコース。水と緑の豊かな自然を楽しむことができます。（一部区間は整備中です）

オススメルート2

のんびりサイクリングにぴったり

矢勝川と新美南吉のふるさとコース

約5km　所要時間：片道約25分※

半田運動公園をスタートし、矢勝川沿いのルートを通って新美南吉のふるさとをたどるコース。童話の舞台と秋には一面の彼岸花を楽しめます。

オススメルート3

健康づくりにぴったり

知多半島縦断コース

約9km　所要時間：片道約45分※

半田運動公園をスタートし、南知多道路と並走して武豊インターまで走行するコース。緩やかな起伏のある自転車専用の道路で、健康づくりを楽しめます。（一部区間は整備中です）

※所要時間は時速12kmで走行時の目安

サイクリングロードの風景

大堀緑道付近

愛知用水沿い

半田運動公園前

県道半田常滑線沿い

矢勝川沿い

武豊インター（起点）

健康づくりを楽しむ

●みどころ紹介

充実したスポーツ施設と多彩な遊具。
子供からお年寄りまで、みんなで健康づくり。

●健康づくりを楽しむ

半田運動公園（はんだうんどうこうえん）　MAP D-8

知多半島のスポーツの拠点として、陸上競技場やテニスコート、約20種類の遊具が人気のちびっこ広場など、家族・グループで一日たっぷり楽しめる総合運動公園です。

陸上競技場

ちびっこ広場

■半田運動公園
所 半田市池田町3-1-1
時 9:00～21:00
休 年末年始
¥ 無料（スポーツ施設、デイキャンプ場、野外ステージは有料）
問 半田市スポーツ課
☎ 0569-27-6663

●健康づくりを楽しむ

あいち健康の森公園　MAP G-4

約52.1haもの広大な敷地には、健康科学館や健康宿泊館などがある健康プラザを始め、大芝生広場やテニスコートなど、子供からお年寄りまで楽しめる多彩な施設が整備されています。

■あいち健康の森公園
所 大府市森岡町源吾1
問 あいち健康の森公園管理事務所
☎ 0562-47-9222

■あいち健康プラザ
所 知多郡東浦町大字森岡字源吾山1-1
時 施設により異なる
休 月曜日（祝日の場合は翌日）年末年始
¥ 施設により異なる
問 (財)愛知県健康づくり振興事業団
☎ 0562-82-0211

歴史と産業を楽しむ

●みどころ紹介

醸造業で栄えた半田の昔日の面影を感じさせるまちなみ、一面に広がる梅林の中で伝統の技にふれる。

●歴史と産業を楽しむ

半田運河（はんだうんが）・蔵の街（くらのまち）　MAP F-9

半田の街を流れる運河沿いには、黒板囲いの蔵が残っており、現在も現役で活躍しています。白と黒のコントラストに彩られた蔵が水面に美しいたたずまいを映します。

博物館（はくぶつかん）「酢の里（すのさと）」　MAP F-9

半田は“かす酢”発祥の地。「酢の里」は日本唯一の酢の総合博物館です。江戸時代から現在までの酢づくりの歴史や製造工程などが見学でき、醸造酢の歴史と文化を探ることができます。

■半田運河（十ヶ川）
所 半田市中村町周辺
問 半田市都市計画課
☎ 0569-21-3111（内線309）

■博物館「酢の里」
所 半田市中村町 2-6
時 9:00～16:00
（12:00～13:00は休憩時間）
土日祝日は 15:30 まで
休 第3日曜日・年末年始・お盆
¥ 無料　※電話予約が必要
問 博物館「酢の里」
☎ 0569-24-5111

●歴史と産業を楽しむ

半田赤レンガ建物（はんだあかれんがたてもの）　MAP F-8

この建物は明治の人々の喉をうるおした「カブトビール」の醸造工場として建設されました。約240万丁のレンガを使った、わが国屈指の規模を誇るレンガ建造物です。

■半田赤レンガ建物
所 半田市榎下町８番地
問 半田市企画課
☎ 0569-21-3111
（内線 222・223）

佐布里池（さふりいけ）「梅の館（うめかたやかた）」　MAP D-6

「佐布里緑と花のふれあい公園」内にある“緑化”や“梅”に関する情報を広く紹介する参加体験型施設です。情報展示室、レストラン、売店、体験工房があります。

■梅の館
所 知多市佐布里台3丁目101
時 9:00～17:00
休 月曜日（祝日の場合は翌日）年末年始
¥ 無料（体験は有料）
問 梅の館
☎ 0562-54-2911

ごんぎつねのふる里を楽しむ

●みどころ紹介

「ごんぎつね」や「おじいさんのランプ」などの、人間愛あふれる童話で知られる新美南吉のふるさと。

●ごんぎつねのふる里を楽しむ

新美南吉生家（にいみなんきちせいか）　MAP E-8

新美南吉（本名新美正八）は大正２年７月30日、父渡辺多蔵、母りゑの次男としてこの家に生まれました。正面から見て左が継母志んの下駄屋、右が父多蔵の畳屋です。（半田市ホームページより抜粋）

新美南吉養家（にいみなんきちようか）（かみや美術館分館）　MAP F-8

南吉の実母りゑの実家（新美家）。大正10年７月、小学校２年生の南吉は、血のつながらない祖母新美志もの養子となり、この家で暮らし始めましたが、４ヶ月ほどで父のもとに帰りました。当時の農家の様子を伝える萱葺きの家で、「小さい太郎の悲しみ」などの作品に登場します。（半田市ホームページより抜粋）

矢勝川の彼岸花（やかちがわのひがんばな）　MAP E-8

ごんぎつねで「兵十」がはりきり網をしかける川の舞台といわています。作品にちなんで200万本もの彼岸花が植えられ、秋には堤防を真っ赤に染め上げます。

●ごんぎつねのふる里を楽しむ

新美南吉記念館（にいみなんきちきねんかん）　MAP E-8

南吉の生涯を綴った記念館。自筆の原稿や日記、手紙などが展示され、南吉の文学活動や生い立ちを知ることができます。なだらかな丘の風景にとけ込む、芝生におおわれた半地下の建物が印象的です。

■新美南吉生家
所 半田市岩滑中町1-83
休 無休（年末年始は休館）
¥ 無料
問 新美南吉記念館
☎ 0569-26-4888

■新美南吉養家
所 半田市平和町7-60
休 無休（年末年始は休館）
¥ 無料
問 かみや美術館
☎ 0569-29-2626

■矢勝川の彼岸花
所 半田市岩滑
問 新美南吉記念館
☎ 0569-26-4888

■新美南吉記念館
所 半田市岩滑西町1-10-1
時 9:30～17:30
休 月曜日・第2火曜日（祝日の場合は翌日）・年末年始
¥ 210円（中学生以下無料）
問 新美南吉記念館
☎ 0569-26-4888

花のある風景を楽しむ

●みどころ紹介

知多半島の季節感あふれる豊かな自然と、花に彩られた風景を楽しむ。

●花のある風景を楽しむ

佐布里池（さふりいけ）（梅林）　MAP D-6

丘陵の谷を利用してつくられた人工池です。梅の名所として知られ、池周辺には約4,600本の紅梅、白梅の花が咲きます。「佐布里緑と花のふれあい公園」や「水の生活館」といった施設が充実しています。

■佐布里池
所 知多市佐布里
問 知多市観光協会
☎ 0562-33-3151

●花のある風景を楽しむ

壱町田湿地（いっちょうだしっち）（湿生植物）　MAP D-10

シロバナナガバノイシモチソウやヒメミミカキグサなどの7種類の希少食虫植物の他、多種多様な動植物が生息しています。県の天然記念物に指定されており、夏から秋にかけての数日間一般公開されます。

■壱町田湿地
所 知多郡武豊町字壱町田
休 一般公開時のみ開園
問 武豊町歴史民俗資料館
☎ 0569-73-4100

大倉公園（おおくらこうえん）（つつじ）　MAP H-3

長いときを経た濃い緑なす樹々、心地良い音をたてる水の流れ、一休みできるあづまや、日本庭園、そして四季を彩る花などが美しく咲き誇っています。特につつじの花の季節はつつじ祭が行われ、多くの人が訪れる名所となっています。

■大倉公園
所 大府市桃山町5丁目74番地
問 都市整備課
☎ 0562-45-6237

花かつみ園（はなかつみえん）（野花菖蒲）　MAP D-7

万葉集等にも歌われているアヤメ科の多年草ノハナショウブ（野花菖蒲）。「花かつみ」と呼ばれ、古来より“幻の花”として珍重されています。毎年６月中旬頃、鮮やかな紫色の花が水辺に咲き誇る姿を見ることができます。

■花かつみ園
所 阿久比町大字草木字上芳池地内
時 9:00～16:00
休 6月上旬～中旬のみ開園
¥ 無料
問 阿久比町社会教育課
☎ 0569-48-1111